

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	平川 泰士
連絡先メールアドレス	hirakawa@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	専任講師
所属	看護福祉学部 社会福祉学科
略歴	2004 年 3 月熊本学園大学大学院 社会福祉学研究科 修士課程 障害児者福祉特殊研究専攻 修了 2004 年 4 月～ 九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科 着任 2021 年 12 月～九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科精神保健学専攻研究指導補助教員 取得資格：社会福祉士・精神保健福祉士
取得学位	社会福祉学修士
担当科目	「精神保健福祉の原理ⅠⅡ」「精神保健Ⅰ」「精神保健福祉制度論」「精神障害リハビリテーション論ⅠⅡ」「精神保健福祉援助演習ⅠⅡⅢ^{*2}」「精神保健福祉援助実習指導・精神保健福祉援助実習^{*1*2}」「社会福祉特別演習ⅠⅡ」「卒業研究論文」 *1：教育研究業績5. と関連している *2：2012 年精神保健福祉士実習・演習担当教員講習会において、指導に係る課程を修了しており、かつ九州看護福祉大学において、科目の資格要件を満たす 2018 年度まで「相談援助演習ⅠⅡⅢⅣⅤ^{*3}」「相談援助実習指導・相談援助実習^{*4}」を担当。 *3*4：社会福祉士実習演習担当教員講習会において、指導に係る課程を修了しており、かつ九州看護福祉大学において、5 年間担当（H19-23 年度）しており、科目の資格要件を満たす。
専門分野	障害者福祉、ソーシャルワーカー養成
所属学会	日本社会福祉学会、日本社会福祉実践理論学会、日本社会福祉教育学会、日本看護福祉学会、熊本社会福祉研究会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉協会
現在の研究テーマ	1. 障害のある子どもへの地域療育的支援について 2. ソーシャルワーカーの技能習得におけるモデル形成について
教育研究業績 (著書・学術論文等)	1. [修士論文]平川泰士「重症心身障害をもつ人々の「自己決定」支援と関係性の構築：～重要な他者としての支援者を考える～」、2002. 2. 平川泰士「障害をもつ人々への『自己決定』支援と関係性の構築—重要な他者としての支援者を考える—」『九州社会福祉学会』、1 号、2005. 3. 平川泰士、吉岡久美「発達障害児に関わるボランティア・スタッフの意

	識—LD 児支援プログラム参加者の調査から—」『日本看護福祉学会』2009. 4. 平川泰士「「障害」表記の変更による差別/偏見低減戦略の有効性～自治体の「障害」表記変更の取組からの考察～」『九州社会福祉学』、6、23-34、2010. 5. 平川泰士・茶屋道拓哉「精神保健福祉援助実習生の視座の変化に関する研究」『精神保健福祉』41(3)、188-189、2010. 6. 山本孝司、水間宗幸、平川泰士「社会福祉学科「基礎演習」実践報告」『九州看護福祉大学紀要』12(1)、2012. 7. 九州社会福祉研究会『21 世紀の現代社会福祉用語事典』2013. 一部執筆 8. 平川 泰士・稲富 憲朗「『相談援助実習』における実習生の学習プロセス—障害者支援施設における実習生のグループインタビュー調査より—」福岡女学院大学紀要人間関係学部編、16、2015. 9. 茶屋道拓哉, 平川泰士「九州看護福祉大学におけるソーシャルワーカー養成教育の到達点」『九州ジャーナル オブ ソーシャルワーク』、第 2 号、2018 年 10. 平川泰士「再帰的近代化の特徴と社会福祉の課題」『九州ジャーナル オブ ソーシャルワーク』, 第 3 号, 2020. 11. 平川泰士「社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士国家試験に対する ChatGPT の正答率の評価について～ChatGPT3.5 と 4 の比較において～」『九州社会福祉学』(21), 2024.
社会活動・社会貢献	[社会貢献] ● 認定社会福祉士認証・認定機構 認定社会福祉士スーパーバイザー ● 熊本県社会福祉士会情報管理委員会(2019 年～) ● 玉名市要保護児童対策及び DV 防止対策等地域協議会 (2021 年～) ● 大牟田市成年後見センター運営管理委員会(2022 年～) ● 玉名市情報化推進計画策定審議会 (2023 年) ● SSW 活用事業にかかるスーパーバイザー (2022 年～) ● 熊本市障害者施策推進協議会委員 (2024 年～) ● 熊本市社会福祉審議会 (臨時)委員 (2024 年～) [社会活動] ● 熊本いのちの電話相談員養成講座講師 ● 熊本いのちの電話：相談員研修会研修委員 ● 児童厚生二級指導員研修講師『個別援助活動』 ● 認定社会福祉士認証・認定機構主催「更新スーパービジョン (集合研修方式)」をスーパーパイズとして実施 ● 2016 年 9 月 14 日 西日本児童養護施設職員セミナー 第 2 分科会「小規模化、地域分散化に向けてのケース会議の在り方」司会